

ニーズ調査結果報告書

■調査概要

対象：一般従業員全員（19名）、回答者（19名）、回収率100%

調査方法：匿名、書面による提出

調査期間：11月2日～11月13日

1. 調査結果

（1）現在の介護の状況と今後の見込

- ・平均年齢が42歳ということで、介護経験ありが21%、介護をした経験がないが79%。
- ・今後5年間のうちに介護をする可能性があるが、89%もいた。
- ・介護に不安を感じるが94%。わからないが1名で、不安を感じないは0名。
- ・介護に不安を感じる理由として「公的介護保険制度の仕組みがわからないこと」（47%）「勤務先の介護にかかわる支援制度がない、わからない」（52%）との回答が多かった。

（2）仕事と介護の両立について

- ・介護しながら、仕事が続けられると思うが40%、わからないも40%、続けられないと思うが20%。

（3）介護が発生した際の働き方

- ・介護をすることになった場合の望ましいと思う働き方としては、介護休業や短時間制度などの支援制度を利用しつつ、できるだけ普通に働きながら、仕事と介護を両立するとの回答が多かった（79%）

（4）介護保険制度等について

- ・地域包括センターを知らないが47%、名称を聞いたことがあるが、利用方法は知らないが42%で併せて89%。
- ・勤務先の介護支援制度について、制度があるかどうか知らないとの回答が79%。
- ・介護休業の考え方について、仕事をしながら介護体制を構築する期間が58%、介護に専念するための期間が42%とバラつきがある。

2. 調査結果からの判明した課題

平均年齢が42歳ということで、今後5年間に介護をする可能性がある従業員が、89%おり、従業員の希望としては、仕事と介護を両立したいと思っているが、介護制度等についてよくわからないために、ほとんどの従業員が介護に対して、不安を感じている。